

授業科目	保育内容「環境」の指導法				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21309J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	末寄 雅美							
授業概要	<p>子どもは、身の回りの様々な環境に対し好奇心や探求心をもって関わるが、そこでの様々な経験や遊びについて考える。具体的には、どのような環境に子どもが関わって活動を生み出すのか、幼児期にふさわしい生活を送るための環境とはどのようなものか、子どもの発達における環境の意味とは何かについて明らかにし、保育実践に活かせる技術を身につける。</p> <p>なおこの授業では実技を含めた授業も行う。実技は屋内外を予定している。屋外での実技については天候などの条件で内容を変更する場合がある。授業後半では、グループによる模擬保育を予定している。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育における領域「環境」のねらい及び内容を理解している。</li> <li>2. 領域「環境」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。</li> <li>3. 幼稚園教育・保育所保育における評価の考え方を理解している。</li> <li>4. 領域「環境」において、乳幼児が経験し身につけていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</li> <li>5. 幼児の認識や思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</li> <li>6. 領域「環境」の特性や幼児の体験との関連を考慮した教材の活用法を理解し、保育の構想や指導に活かすことができる技術を身につける。</li> <li>7. 環境を通じた遊びが、子どもの発達にどのような影響を与えるのか、どのような環境設定がふさわしいかについて理解し、環境構成を含めて実践できるようになる。</li> <li>8. 遊びの楽しさを伝えられる保育者になる</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	25	35	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			10		25		35	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			20	15	10	5	50	
技能・表現 (DP5-3)				10		5	15	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. 子どもの発達と環境の関わりについて熟知し、保育活動において、育ちを促す環境設定を自発的に作り出すことができる 2. 環境遊びへの関心を高め、幼児期にふさわしい科学遊びや野外遊びなどの技術を身につけ、実践できる				1. 保育者の「環境設定」がどのようなもので、どんなねらいをもつのか、といった視点を持ち、保育活動を観察できるようになる 2. 保育における環境の様々な意味合いについて理解する				

		3. 環境遊びの技術を身につけ、遊びが楽しいものであることを実感し、積極的に子どもに提供できるような人物となる		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション *この授業の進め方について *5領域における「環境」について、前期授業「子どもと環境」の振り返り *環境を通した遊びとは 自然遊び・科学遊び・構成遊びなどの様々な遊びと子どもの発達	講義	前期授業「子どもと環境」のノートやプリントを読み返しておくこと。	60
2	主体的な遊びを促す環境構成とは 映像資料から環境と遊びの関連を考える	講義・演習(個人・グループワーク)	復習:ワークシート(1)作成	30
3	環境遊び・子どもと自然(1) 五感を育てる遊び・遊びの意義 遊びを促すファシリテーターの役割	講義	復習:ワークシート(2)作成	30
4	環境遊び・子どもと自然(2) 屋外でできる自然を用いた簡単な遊びの技術を身につける	演習(屋外での実技)	復習:ワークシート(3)の作成	30
5	環境遊び・子どもと自然(3) 季節遊び・野外遊びを楽しむ	演習(屋外での実技)	配布プリントを読んでおくこと	30
6	環境遊び・科学遊び(1) 保育現場における科学遊びと子どもの思考力の育ち	講義・演習	復習:ワークシート(4)の作成	30
7	環境遊び・科学遊び(2) 身近な材料を使って科学遊びを行う	講義・演習	復習:ワークシート(4)の作成	30
8	環境遊び・構成遊びと図形や数 積み木・折り紙・ブロック遊びが引き出す発達とは 図形や数に触れる遊び 構成遊びの面白さ 模擬保育の担当テーマ決定	講義・演習	復習:ワークシート(5)の作成、 模擬保育グループの話し合い	90
9	保育の環境構成を記録する 実習記録の「環境の構成」をとらえる視点	講義・演習(個人ワーク)	復習:ワークシート(6)の作成	30
10	自然を生かした保育方法ー里山保育とは 「里山保育」の映像視聴 子どもの育ちと自然環境との関わり	講義	復習:ワークシート(7)の作成	30
11	「森のようちえん」とは 園外保育・野外保育における子どもの安全への配慮について	講義・演習	配布プリントを読んでおくこと	30
12	模擬保育(1)自然遊びに関わる活動	演習	予習:模擬保育に向けた準備 復習:振り返りシート(1)作成	30
13	模擬保育(2)科学遊びに関わる内容	演習	予習:模擬保育に向けた準備 復習:振り返りシート(2)作成	30
14	模擬保育(3)構成遊びに関わる内容	演習	予習:模擬保育に向けた準備 復習:振り返りシート(3)作成	30

15	まとめ	講義	予習:これまでの授業内容を まとめておき、質問などがあ れば準備する 復習:期末レポート作成	180
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	子どもを取り巻く環境や、園の環境(人的・物的)にどのような配慮がなされているかについて関心を持っておく 環境遊びを楽しむ意識と相応しい格好などを身につけておく 前期授業「子どもと環境」の内容を確認しておく			
テキスト	「幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領」			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	初回の授業には「幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領」を持参すること。			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	(授業以外の学習方法)ほぼ毎回ワークシート等の復習課題が出るので、自宅学習できちんと行い、ノ切を守 って提出しましょう。なお、欠席した授業回のワークシートは再配布しないが、授業レジュメは配布するので申 し出ること。 (学生へのメッセージ)保育内容「環境」に関わる演習中心の授業です。授業の後半にはグループによる模擬 保育を行います。それぞれ与えられたテーマを話し合い、準備をしておいてください。			
達成度評価に関す るコメント/課題に 対するフィードバッ クの方法	授業内で指示する提出物(ワークシート・振り返りシート)は、それぞれ点数化し評価に加えるため、毎回きち んと期日までに提出するようにしましょう。 期末レポート課題については必ず提出してください。 「発表」は模擬保育(3回)の内容と参加度で評価します。			

	<p>「その他」では、授業への積極的な参加態度や発言を評価します。 屋外での体験活動も予定しています。楽しく活動するために必要な態度を考え、授業に臨んで下さい。 授業内での私語、居眠り、ルールを守らない行為は減点します。</p>
--	--